

経営比較分析表（令和5年度決算）

岩手県 山田町

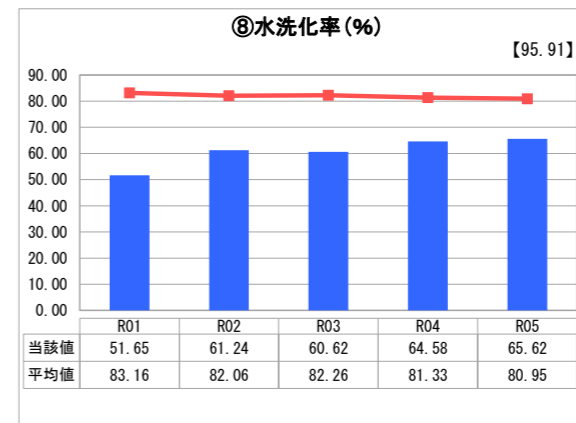
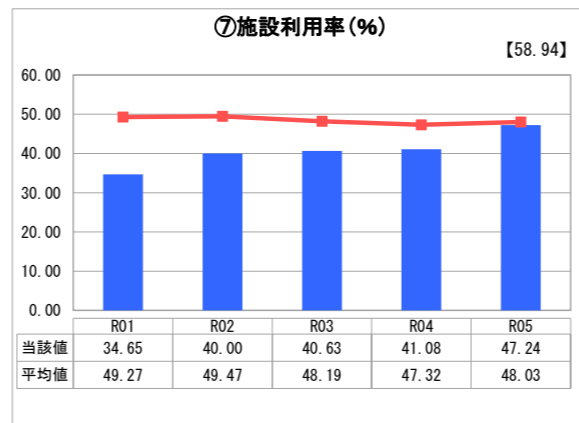
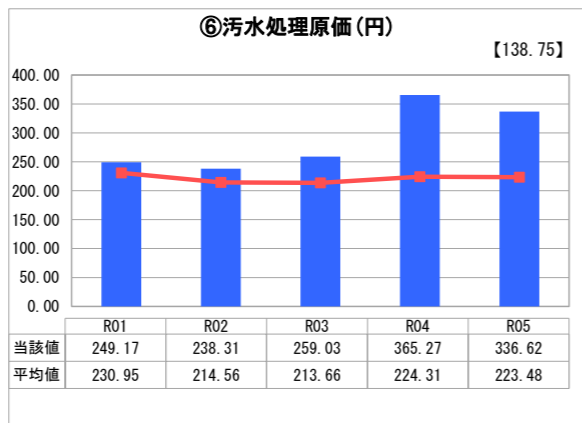
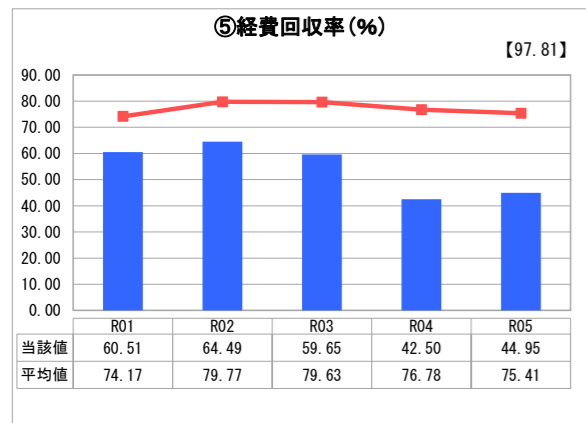
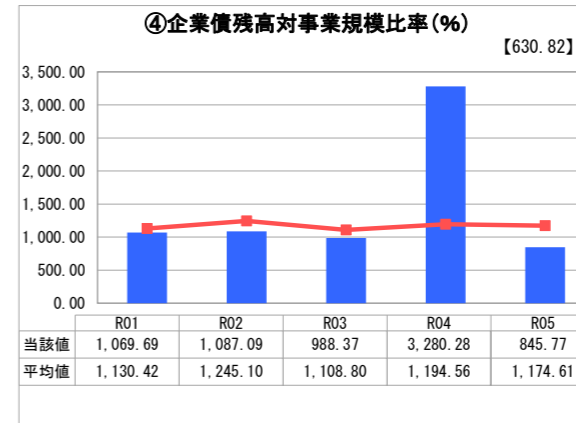
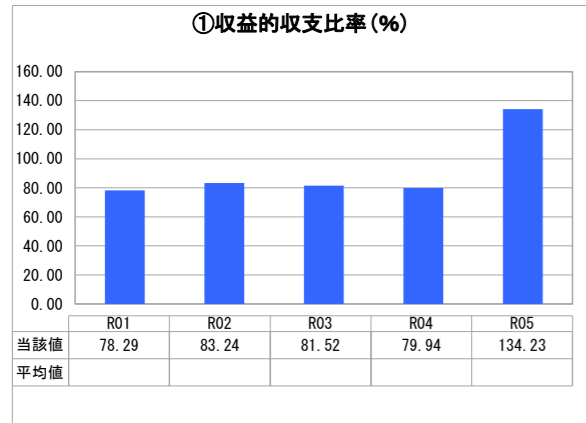
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	49.59	97.76	2,879

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,240	262.81	54.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,980	3.35	2,083.58

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

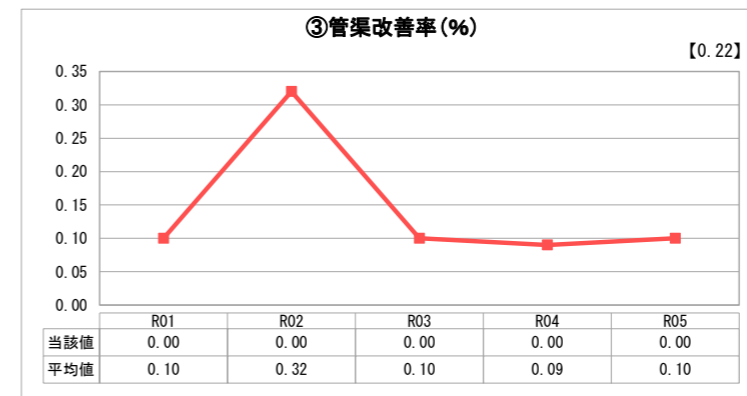
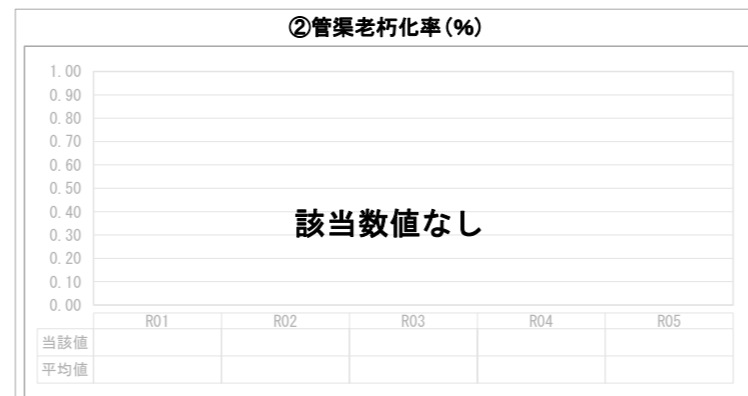
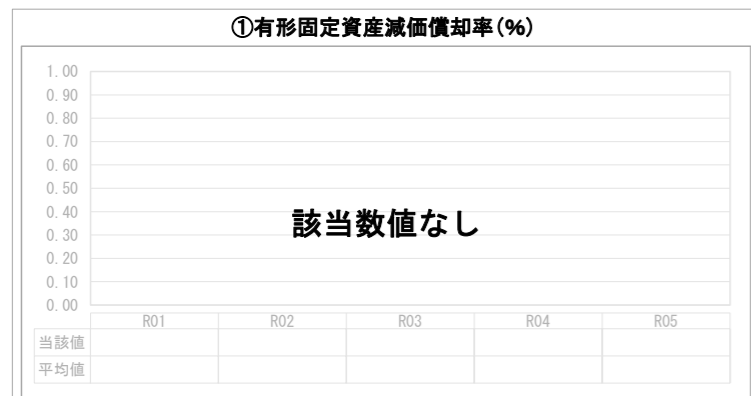
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
令和5年度に54%改善しているが、公営企業会計移行のための準備金による繰入金の一時的な増加によるものであり、実質的な収支は令和4年度と同程度と考えられることから、接続率の向上を図るなど、経営改善が必要である。
- ④企業債残高対事業規模比率
例年から微減傾向にあり、引き続き企業債の縮減に取り組んでいきたい。
- ⑤経費回収率
令和4年度に物価高騰等に伴い悪化したが、5年度は若干改善傾向にある。有収水量の増加や接続率の向上に努めていく。
- ⑥汚水処理原価
令和4年度に物価高騰等による経費見直しに伴い増加しているが、令和5年度は動力費が減少したことにより微減となっている。
- ⑦施設利用率
接続戸数の増加により上昇傾向にあるが、依然として5割を下回っていることから、引き続き接続率の向上を図る必要がある。
- ⑧水洗化率
徐々に増加傾向にあり、下水道イベントの実施など引き続き下水道事業の周知を図り水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

管渠の老朽化率は低いため、更新工事は基本的にまだ行っていない。

2. 老朽化の状況



全体総括

公共下水道は、令和8年度まで未普及事業を推進し、管渠整備を終える計画としており、今後も供用区域の拡大に伴い接続人口は増える見込みである。一方で、将来的な施設老朽化及び人口減少を見据えた事業運営を行っていく必要があり、経営戦略を策定する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。